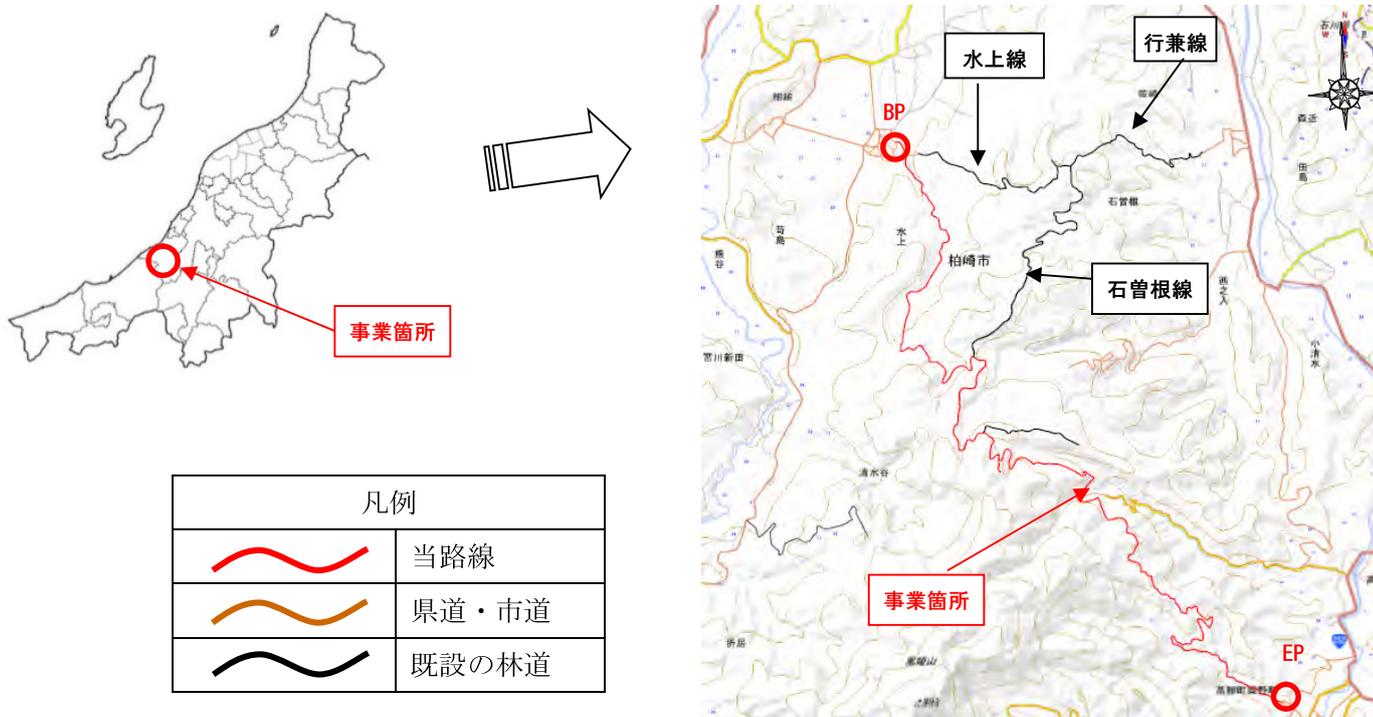


令和7年度 農林水産部 公共事業 詳細事後評価 一覧表

番号	事業名	施設名	市町村名	総事業費 (事業期間)	事業目的	事業効果の発現状況と詳細に事後評価を行った内容	対応方針 【改善措置の必要性】	課名				
1	林道開設事業	黒姫山線	柏崎市	30.4億円 (H10~R2)	・当林道の開通により、木材の安定生産の促進及び森林の公益的機能の増進を図る。	<p>【事業効果の発現状況】</p> <p>○森林へのアクセスが容易になったことで造林や保育が進み、木材生産の促進及び森林の公益的機能の増進が図られた。</p> <p>[森林整備面積] 目標：79.9ha ⇒ 実績：83.0ha (104%)</p> <p>【詳細に事後評価を行った内容】</p> <p>○全体事業費についての評価</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">直近事業評価</td> <td style="text-align: center;">事後評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">費用便益比(B/C) = 1.32</td> <td style="text-align: center;">→ 1.56</td> </tr> </table> <p>○事業効果についての評価</p> <p>・森林組合では、円滑な森林整備の実施につながっていると評価。柏崎市や地元住民では、林道の役割が認知されるとともに、地域の観光資源として地域活性化に寄与していると評価。</p>	直近事業評価	事後評価	費用便益比(B/C) = 1.32	→ 1.56	林道管理者に対し、引き続き当林道が間伐等の森林整備に活用されるよう指導するとともに、今後は循環型林業の推進に向けて主伐・再造林等にも有効活用されるよう要請していく。	林政課
直近事業評価	事後評価											
費用便益比(B/C) = 1.32	→ 1.56											

令和6年度 公共事業予備事後評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	林道開設事業
事業箇所	柏崎市大字水上～柏崎市高柳町岡野町	施設名	黒姫山線

<p>① 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 背景 ・ 目的 ・ 必要性 ・ 課題と対応 等 	<p>当林道は柏崎市南部の水上と高柳町岡野町を結び、連絡線形による森林施業の効率化を図ることを目的として開設された林道である。</p> <p>利用区域面積 1,116ha のうち 35% (391ha) が人工林で、そのうち 49% が柏崎市有林や農林公社等による分収林であり、集約された造林地が多い。一方で、人工林のうち約 4 割は手入れの必要な 45 年生以下の若齢林であるため、当林道の整備により、循環線形による森林施業の効率化等が期待される。</p> <p>(1) 木材の安定生産</p> <p>当林道の整備により、支線となる水上線、石曾根線、行兼線との連絡線形を構成することで、造林地へのアクセスが容易になるとともに、高性能林業機械や木材運搬用トラックの円滑な移動が可能となり、木材生産の効率化と低コスト化が期待される。</p> <p>(2) 森林整備の促進と公益的機能の維持増進</p> <p>利用区域の約 3 割が保安林で、岡田・岡野町集落に供給される簡易水道の水源地があるため、水源かん養機能の維持増進のため、適切な森林整備が求められている。</p>											
<p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業規模 ・ 事業費 ・ 事業期間 等 		<p>当初 (H10)</p> <p>延長 14,478m</p> <p>幅員 5.0m</p> <p>事業費 3,354 百万円</p> <p>工期 H10～H24</p>	<p>再評価 (H30)</p> <p>12,884m</p> <p>5.0m</p> <p>3,136 百万円</p> <p>H10～H31</p>	<p>完了時 (R2)</p> <p>12,879m</p> <p>5.0m</p> <p>3,040 百万円</p> <p>H10～R2</p>								
<p>③ 事業概要図 (ポンチ絵)</p>	 <table border="1" data-bbox="311 1680 742 1892"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>当路線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県道・市道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既設の林道</td> </tr> </tbody> </table>				凡例			当路線		県道・市道		既設の林道
凡例												
	当路線											
	県道・市道											
	既設の林道											

計画図等	
④全体事業費	⑤全体事業費増減の理由
<input checked="" type="checkbox"/> ア 全体事業費が一定規模※以上 直近事業評価時：3,136百万円 完了事業費：3,040百万円 ※＜一定規模の目安＞ ・治山事業 10億円以上 ・林道事業 30億円以上 ・造林事業 5億円以上 ・漁港事業 40億円以上 ・海岸事業 30億円以上 ・漁場事業 7億円以上	掘削土砂を利用する工法を使用し、法面对策や残土処理のコスト削減を図った結果、全体事業費が減となった。 <input type="checkbox"/> イ 全体事業費が直近事業評価時（事業評価を受けていない場合は採択時）に比べ30%以上増額した <input type="checkbox"/> ウ 全体事業費が直近事業評価時（事業評価を受けていない場合は採択時）に比べ30%以上減額した
⑥事業が長期化或いは短期化した理由	
(該当なし)	
⑦事業の効果について	
事業採択時の「事業の目的と目標」の達成状況（直接的効果） ○森林整備（直近5カ年分） ・目標：79.9ha ⇒ 実績：83.0ha(104%) （主伐0.20ha、利用間伐31.46ha、保育間伐13.89ha、保育30.75ha、その他6.65ha） ・適宜、適切な森林整備の実施により、水源涵養に資する健全な森林が育成され、岡田・岡野町集落（供給戸数270戸）の安定的な水源となっている。 主たる目的以外の効果の発現状況（間接的効果） ・特になし <input type="checkbox"/> エ 事業採択時想定より大きな効果（直接的効果）が得られたもの <input type="checkbox"/> オ 事業採択時想定より効果（直接的効果）が得られなかったもの <input type="checkbox"/> カ 主たる目的以外の効果（間接的効果）のうち特筆すべき効果（波及効果を含む）が生じているもの	
⑧事業実施による環境等の変化	
・特になし <input type="checkbox"/> キ 事業実施により環境に著しい変化があった <input type="checkbox"/> ク 生態系や周辺環境に対して特に配慮した取組を実施し、機能したもの	
⑨施設の維持管理について	
（地域住民参加によるもの、構造等に特に配慮したもの、更なる配慮が必要なもの等） ・特になし <input type="checkbox"/> ケ 特筆すべき維持管理対応がある	
⑩上記項目以外に詳細な分析の必要性の有無	
（特筆すべき先進的工法や特殊資機材の使用等があったもの、新潟県公共事業再評価委員会において特段の意見があったもの等） ・特になし <input type="checkbox"/> コ 詳細に分析すべき事項がある	

< 詳細事後評価の実施基準 >

ア～コ□に該当する場合、詳細事後評価の候補とする。

令和7年度 公共事業詳細事後評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	林道開設事業
事業箇所	柏崎市大字水上～柏崎市高柳町岡野町	施設名	黒姫山線

⑪詳細分析（該当する事項について実施）

□全体事業費について（予備評価④）

・全体事業費 3,040 百万円に対し、事後評価時の費用便益比（B/C）は 1.56 となり、適切な事業効果を得られたと評価できる。

（便益の増加要因：算定因子単価の上伸など、費用の増加要因：人件費の上伸に伴う森林整備費用の増など）

【H30】直近事業評価時 ○総便益（B）：6,011百万円 ○総費用（C）：4,567百万円 ○費用便益比（B/C）： <u>1.32</u>	➡	【R7】事後評価時 ○総便益（B）：9,017百万円 ○総費用（C）：5,778百万円 ○費用便益比（B/C）： <u>1.56</u>
---	---	--

便益額の内訳

単位：百万円

	【H30】直近事業評価時（a）	【R7】事後評価時（b）	増減（b-a）
木材生産便益	1,316	1,859	+543
水源涵養便益	2,369	4,415	+2,046
山地保全便益	533	987	+454
環境保全便益	432	525	+93
森林の総合利用便益	869	1,198	+329
その他便益	492	33	△ 459
合計	6,011	9,017	+3,006

□事業効果について（予備評価⑦）

○森林整備

当林道の整備により造林地へのアクセスが容易になったことで、若齢の人工林に対する継続的な保育作業や、高性能林業機械を活用した木材生産が拡大した結果、森林整備面積は目標値を上回った。

また、岡田・岡野町集落（供給戸数 270 戸）の水源となっている林道沿線の市有林では、水源涵養機能の維持向上を目的とした森林施業が着実に実施されている。

○利用者からの評価（アンケートおよび聞き取り）

森林組合では、施業団地へのアクセスが向上し、円滑な森林整備の実施につながっていると評価している。また、柏崎市では、当該林道の利用区域内の市有林で伐採した木材を市の新議場に使用したほか、林道沿線の森林でイベントを開催し、林道の役割の認知につながっていると評価している。林道起点側の水上集落では、自然体験フィールドや登山ルートへのアクセス道として、地域の重要な観光資源であり、地域活性化の役割を担っていると評価している。

【今後の対応方針】評価結果をもとに今後の事業で取り組むべき事項

⑫同種事業等に取り組むべき内容

林道管理者に対し、引き続き当林道が間伐等の森林整備に活用されるよう指導するとともに、今後は循環型林業の推進に向けて主伐・再造林等にも有効活用されるよう要請していく。